



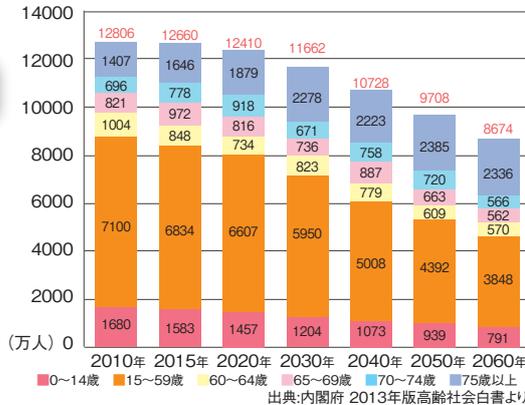
## 美容業界における福祉

近年シニア世代の増加により、出張・訪問美容サービスや、介護美容サービスの需要が拡大しています。それに比例し、高齢者へのヘア・エステ・ネイルケアなどの福祉美容を、ボランティアまたは仕事として行う技術者も増えています。この分野の目覚ましい成長は、日本の美容業界において、認識しておきたい重要な事柄といえるでしょう。

### 1 福祉美容ニーズの高まり

高齢化社会と言われて久しい。2035年には、日本国民の3人に1人が65歳以上の高齢者、というデータもある。「福祉美容」といっても他分野にわたるが、例えば「ヘアサロン」を例にとってみても、サロン数・美容師の数ともに増加の一途をたどっている。しかし美容室の中心顧客である20～40代女性がヘアサロンにかかる金額は減少している。美容業界にとって、若者向けに最新メニューを揃えるのも重要である一方、今後いかに高齢者向けのサービスを充実させていくかも、カギとなっている。

日本の年齢区分別将来人口推計



2035年には、  
ほぼ3人に1人が  
高齢者(65歳以上)

2060年には、  
2.5人に1人が  
高齢者

### 2 訪問美容の現状と今後

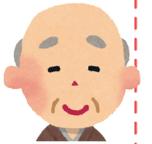
以前の訪問美容・介護美容はカットが主体で、全体的に簡易的なサービスをするに過ぎなかった。しかし、近年はシニア増加によるニーズも高く、整髪だけでなく、室内の音楽や装飾に工夫を凝らしたりしているところも出てきている。また「そのひとの尊厳・個を大切にす」という意識の高まりで、提供する側の技術レベルの高さが求められている。今後はそのニーズに応えられるよう、美容技術だけでなく、介護・障がい者への知識を持つ「プレイヤー」を育てる土壌が必要になってくるだろう。

#### 美容による 心理的・身体的効果

メイクには外見の効果だけではなく、心理的效果も。例えばメイク後は気分が明るくなり、美しくあろうと意識をすると周囲から評価を受ける。それが自信に繋がり、対人関係が活発になるという良い循環が生まれる。そうすることで脳を活用し、老化の進行を緩やかにする効果が期待できるとか。

#### 美容は女性だけ ではない!男性も...

実は男性にもうれしい美容サービスはたくさんある。ヘアスタイルの変化はもちろんのこと、ハンドマッサージでリラックス感を得たり、耳毛・鼻毛・眉毛のグルーミングで新鮮な気持ちになったりと、出来ることは幅広い。



### 3 これからの美容業界に求められること

平成24年4月に施行された「介護保険法改正」。これは、高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるように医療、介護などのサービスを切れ目なく提供する「地域包括ケアシステム」の実現を目的としている。福祉サービスを含めた様々な生活支援サービスが日常生活の場(日常生活圏域)で適切に提供できるように地域での体制と定義する。簡単に言うなら「施設から、在宅ケアへの流れ」を意味している。この在宅の訪問美容に対して、日常的に応えられる「人材のマッチング」と「仕組み作り」が重要になっていきそうだ。

#### ex.美容師

例えば美容師さんなら、ヘアカットの技能という「手に職を持っている」ことは、すごい価値である。今後の高齢化社会を考えた時に「美容⇄健康」の相性の良さも武器になり、「地域のコミュニティとしてのサロンの位置づけ」が変化していくかもしれない。

「これからの日本の成長の大きな柱として、美容や医療への関心がますます高まっていく。」

#### あるママさん 美容師の声



子どもを産んで、また流行の最前線であるサロンに戻る自信はなかった。訪問美容はそこは違う知識が必要になりますが、やりがいもある。子どもがいるので、基本昼間のみ労働もありがたい。自分自身、美容師として働ける復帰の場としても助かりました。

### 4 福祉美容はここにも...

美容まわりの福祉というと、先にあげたヘアサロン・エステ・ネイルだけではなく、高齢者の増加&ニーズの多様化に役立てていくことが必要である。アメリカやイギリスのNPOでは、様々な分野にまたがった福祉活動も珍しくない。今後の日本も、そうなった流れになっていくことが期待される。

#### ガン患者向けの 医療用ウィッグ

国立がんセンターがん対策情報センターによる推計値によると、日本人の2人に1人がガンにかかる生涯リスクがある。最近では、個々に応じてサロンでカットやパーマ・カラーも出て、より自然&低価格なウィッグも出てきている。



#### 障がい者の自立支援

障がい者就労支援の現状調査を行い、現場での「身だしなみ」「マナー」指導、障がい者向けの実技指導型講習会、支援員向け指導法勉強会などへの講師派遣などを通し、障がい者の自立支援を行っている。



#### 海外への技術支援

途上国におもむき、シャンプー・カット・マッサージ・ネイルなどのボランティア活動を行う。また現地の美容関係者のニーズを調査しながら、職業関連センターで提供する訓練カリキュラムの作成や、現地の美容師を集めたセミナーで指導をするなど、技術アップに貢献することが出来る。